

## 【資料】 福井学 はばたきのステージ その1

福井市では、歴史・自然・文化・産業・景観・生活などの事象を楽しく学ぶことにより、郷土の個性や魅力を見つめ直し、愛着心を育む中で、一人一人が誇りと自信をもって生活していこうという取組を「福井学」と称している。

中央公民館は、その「福井学」の学習センター的な役割を担っており、平成19年度から「福井学基礎講座」として毎年約9回の講座を開催してきた。その中で、これまで各地区の特色を生かした多くの実践事例報告を学習プログラムに取り入れ、その学習・研究成果を地域づくりに活用できるようにした。ここでは、平成22年度からの「はばたきのステージ」における講座の中から、地域の特色ある実践事例を以下に紹介する。

### 〈平成22年度〉

11月27日 ○朝倉街道について（上文殊地区） 東大味町さくら会  
○花山行事について（東郷地区） 花山行事保存会



2地区の行事とともに、地区の子どもの数の減少により存続の危機にあったが、地域住民の協力のもと続けられている。地区民にとっては、地域を見直すとともに地域づくりへの参加の機会が得られている。

今後も地域で知恵を出し合って多くの方々の協力を得ながら、魅力ある行事として継続していくことを願っている。

### 〈平成23年度〉

8月6日 故郷の産物をめぐって  
○木田ちそ（木田地区） 木田ちそ出荷組合 組合長 加藤 秀次 氏  
○へしこ（越廼地区） 越廼公民館 主事 杉田久美子 氏  
○しんぼなす（啓蒙地区） シニア野菜ソムリエ 竹下 清 氏

各地域で取り組まれている産物の紹介があり、伝統野菜を育て続けることの大変さや後継者不足が課題として挙げられた。先人たちが作り上げ守り続けた野菜を後世に残すために幅広く活動する中で、昔ながらの料理と違う方法をいろいろと工夫し商品として出しながら、伝統野菜を守り続けていただきたい。



10月1日 ふるさとの山をめぐって  
○禎山の取組（東郷地区） 禎山を育てる会 会長 梶山 悟 氏  
○下市山の取組（東安居地区） 菜の花公夢典 事務局長 川崎 栄詞 氏



それぞれ歴史のある城址を中心としたまちづくり活動の報告であった。市民の憩いの場として定着するよう、地区の有志の協力の下、遊歩道や展望所の整備を行った。その結果、誰もが気軽に散策を楽しみ、憩いの場として定着するようになった。

今後も広報活動や整備の維持管理を継続し、多くの方がそれぞれの山を親しめるようになることを期待している。

12月3日 ○足羽川について（湊地区） 歴史探訪みなと塾 副塾長 田島 紀男 氏  
○荒川について（円山地区） 円山公民館 館長 宇佐美一朗 氏

川は古来から人間の生活には欠かせないものであり、地域で人々が川を身近なものと感じ、川を大切にするという意識を高めていくことが不可欠であるということが両者の共通認識である。

どちらも「川に歴史あり!」のごとく、様々な人物との関わりがあり、生活物資の輸送などにも利用されてきた。また、災害が繰り返されるたびに川の整備も行われてきている。

人々と川の共存という本来あるべき関係を保つため、住民がまず立ち上がって行政や関係機関などと連携し、今後も川の保全と整備活動が継続することを願っている。



## 〈平成 24 年度〉

7 月 14 日 守り育てる地域の偉人

- 橘曙覧 生誕 200 年祭（湊地区）
- 春嶽と左内先生の春山（春山地区）
- 地域の偉人（旭地区）

歴史探訪みなと塾 副塾長 田島 紀男 氏  
春山公民館 館長 柳澤 全之 氏  
旭公民館 館長 藤井 一夫 氏



3 地区とも学校連携等で子供たちに先人の業績を伝え、地域を守り育てる実践活動が行われている。紹介された偉人の中には大変メジャーな人物から初めて聞く人物までいろいろといたが、県の偉人でもあるため、他の地域とも連携した今後の活動に期待したい。偉人を中心にすえたまちおこしは地区民で伝承していく必要があり、伝統芸能や伝統文化などの継承にもつながっていくことを願う。

12 月 8 日 ○城址公園を夢見て（森田地区）  
○平家ゆかりの地との交流（国見地区）

森田公民館 館長 吉村 公司 氏  
国見町自治会 会長 辻岡 公男 氏

地域の歴史を多くの住民が学び、そこから地区の事業を展開する森田地区。歴史でつながった他県と地区住民が訪問し合う交流事業を行う国見地区。どちらも住民自身が作り上げていっている。先祖代々住んでいる住民、新しく転居してきた住民同士が協力し合い、今後も継続し、さらに発展していくような活動であってほしい。



## 〈平成 25 年度〉

8 月 10 日 守り伝える地域の歴史

- 守り育てる地域の歴史（清明地区）
- 「日新かるた」製作とその拡大活用（日新地区）

清明公民館 館長 坂上 清 氏  
日新地区いきいきライフセミナー 前川 栄寛 氏



2 地区とも「地区を愛し、地区に伝わる宝を次世代に伝え、守りたい」との熱い思いで活動を行っている。地区の歴史を継続的に発信していくこと、地域・学校など多くの方の協力のもとに事業が進められている。地域の PR 活動のために地元民が地元について調べまとめ伝えるといった、先を見据えた活動は他地区にもたいへん参考になったものと思われる。

8 月 24 日 福井の豊かな食文化の魅力

- 生き生き母ちゃんのまちおこし（美山地区）
- トマト専門部会の取組（東安居地区）

米工房ほ・た・る代表 杉田久美子 氏  
安本 進一 氏

地元産食材を活かして作られている特産物の誕生に至る経緯、生産者としての工夫や苦労、地域との連携・協力、今後の課題などについての実践発表が行われた。地域の生きがいづくりを实践し、地元貢献している。地域の魅力を地域の方が担い手となり広めていく活動が他の地区にも広がってほしい。



12 月 14 日 ○宝永れきしカルタの取組（宝永地区）

宝永れきしカルタ作成委員会 委員長

増永 秀則 氏

- 「地域をつなごう狼煙の道」～古里を狼煙でつなごう～（清水西地区）

清水西公民館まなび部会

北島 忍 氏



子供たちも関わりながら取組を行っている両地区。地元で伝わる歴史・伝統文化などのカルタを作成しようと、地域住民からアイデアを募集し、住民で作成した宝永地区。地区の歴史や伝統文化を学ぶにつれて現地に出向き実証的な学びを行いたいという思いが高まり、他地区とともに調整会議を開催し「狼煙の道の実証に挑戦」を実施した清水西地区。今後は、地区の良さを見つめ直し、次世代にも続いていく事業として定着し、地区民に広がっていくことを期待したい。